

## 健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

## 特定健康診査結果から慢性腎不全予防への取組

運動

食

団地まるごと

その他

## 事業概要

特定健康診査の結果をもとに、慢性腎臓病のステージ分類を行い、生活習慣の改善が必要な方には、慢性腎臓病についてのリーフレットを配布および個別相談を行った。また、自覚症状がないために再検査を受けられない方が多く、慢性腎臓病の病態と予防・治療について健康教室を行った。

## 事業内容(参加者数・予算等)

- 結果説明会来所人数 1,464人(実人数)  
慢性腎臓病についてのリーフレット配布 229人(実人数)
- 特定健康診査の実施項目  
地元医師会との話し合いで、基本的な健診項目に、貧血検査(赤血球数、血色素数、ヘマトクリット値)、血清クレアチニン、平成25年度からは、尿酸を加えて実施している。
- 健診結果  
40歳から74歳までの方に、結果説明会を開催し、結果の見方、メタボリックシンドロームとは何か、腎臓の働きを説明し、個別相談を行う。
- 健康教室  
「腎臓を守ろう講座」 参加者43人(実人数)  
「いい塩加減で健康になろう教室」 参加者21人(実人数)

## 事業効果

- 結果説明会の保健指導にて、腎臓の働き、慢性腎不全についての啓発を行うことができた。また、継続して知識が深まるように健康教室を実施したため、効果があったと思われる。
- 地元で身近な腎臓専門医が講演を行うことで、多くの方が健康教室に参加された。

## 課題

- 医療費の検証無し

## その他

- 平成25年度は、ちちぶ定住自立圏事業ちちぶ医療協議会において、特定健診の検査項目に尿検査における「食塩摂取量推定調査」を加えて実施した。この結果も活用し健康教室を企画する。